

愛媛県の地震

2023年（令和5年）1月

目次

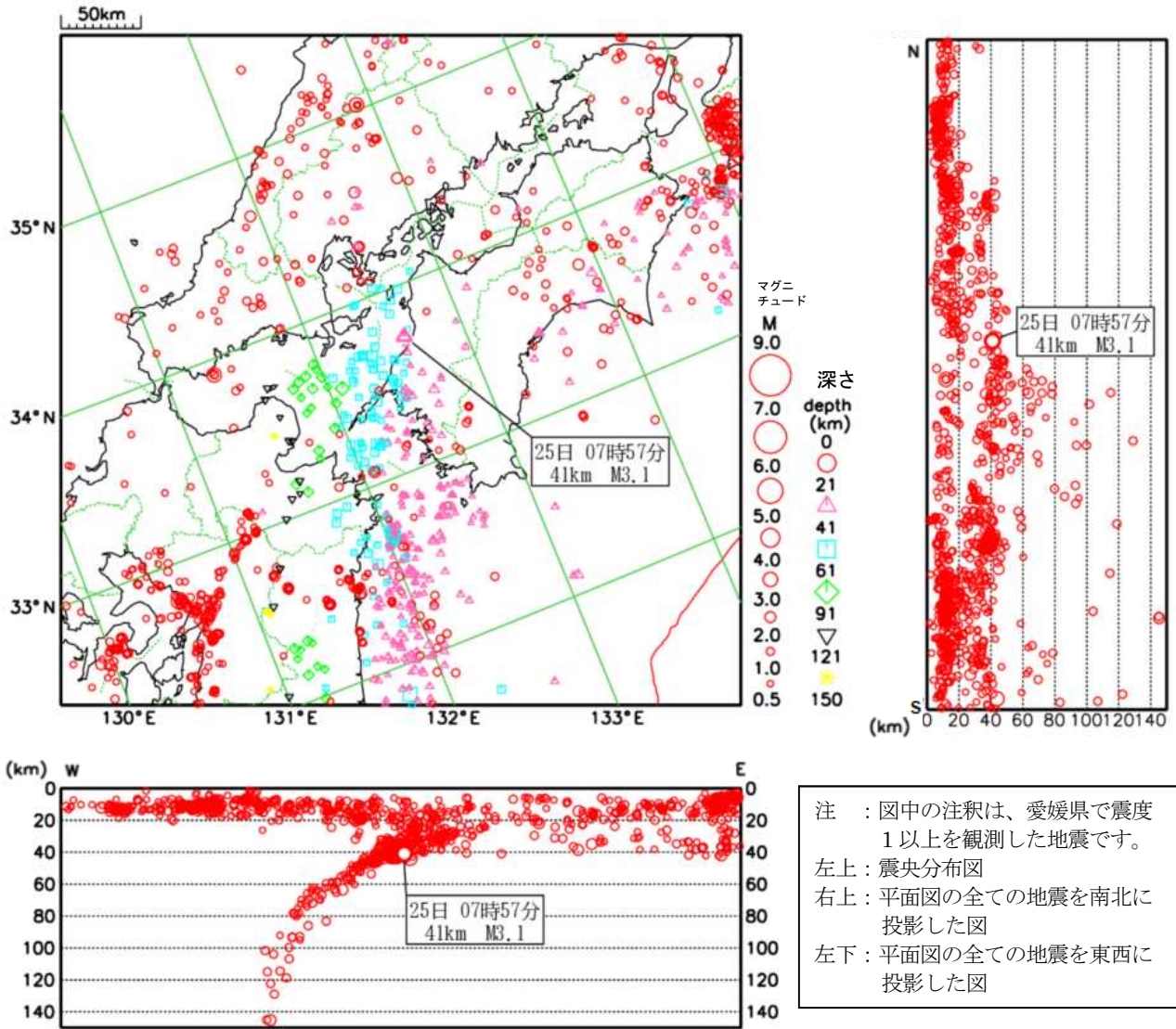
1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（1月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（1月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（1月）	2
5. 地震一口メモ 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について	3

本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2023年1月1日～1月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

2. 地震概況（1月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 57 回（先月は 74 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（先月は 3 回）でした。

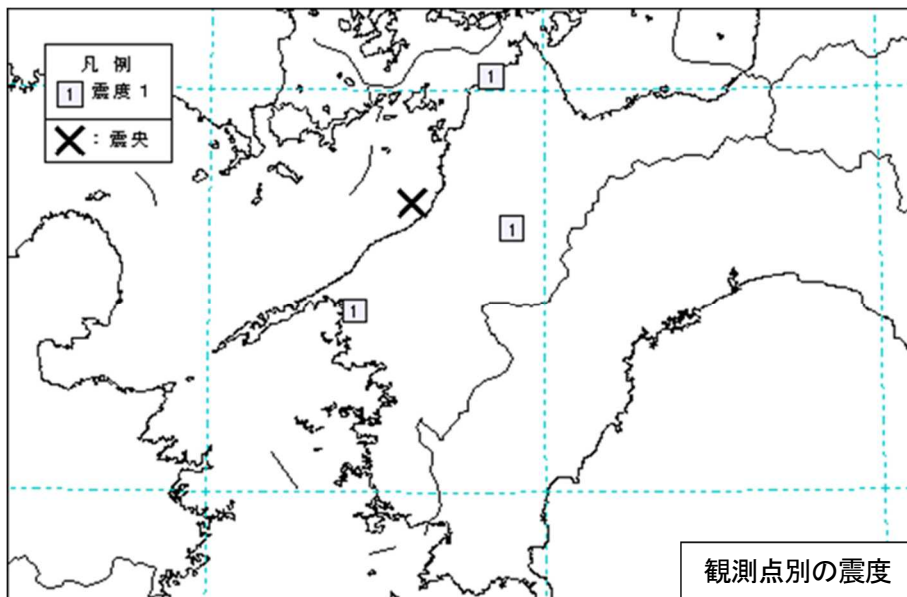
25 日 07 時 57 分 伊予灘の地震（深さ 41km、M3.1）により、愛媛県では今治市、久万高原町、八幡浜市で震度 1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（1月）

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2023年01月25日07時57分	伊予灘	33°43.1' N	132°36.3' E	41km	M3.1	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：今治市菊間町*、久万高原町久万*、八幡浜市五反田*						

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（1月）



1月25日07時57分 伊予灘

5. 地震一口メモ

長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について

長周期地震動とは、大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れ（周期が長い揺れ）のことをいいます。高層ビルなどでは長周期地震動により大きく長時間揺れ続けることがあります。

気象庁では、長周期地震動による被害の軽減に資するため、令和5年2月1日から緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化しました。

1. 緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加

通常の地震の場合だけでなく、長周期地震動による被害の可能性がある場合にも緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加します。

長周期地震動階級の基準による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わりませんので、慌てずに身の安全を守ってください。

2. 長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化

現在、地震発生から20～30分程度を要している長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。高層階での被害の可能性を把握するなど、様々な防災対応へご活用ください。

気象庁ホームページ 長周期地震動について

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/index.html>

長周期地震動に関する情報の提供について別紙

○長周期地震動に関する予測情報（緊急地震速報の改善）

- これまでの緊急地震速報は、下記のとおり震度の予想によって発表していました。
- 今後は**発表条件に長周期地震動階級の予測値を追加して提供**することとし、**長周期地震動階級3以上**を予測した場合でも、緊急地震速報（警報）※を発表します。
※緊急地震速報（予報）の発表条件には、長周期地震動階級1以上を予測した場合を追加します。

○運用開始日：**令和5年2月1日**

○緊急地震速報（警報）の発表条件 赤字：変更点


発表条件	震度5弱以上を予想した場合 +（または） 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 +（または） 長周期地震動階級3以上を予想した地域

○長周期地震動の基準で発表される緊急地震速報の例
(平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震)

震度による
警報発表領域（シミュレーション結果）



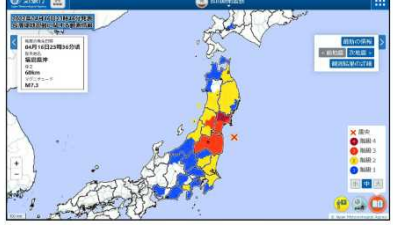
震度+長周期地震動階級による
警報発表領域（シミュレーション結果）



緊急地震速報を見聞きしたら、これまで通り身を守る行動をとってください。

○長周期地震動に関する観測情報

- 高層ビル等で被害をもたらす長周期地震動への対応として、「長周期地震動階級」をお知らせする「長周期地震動に関する観測情報」を気象庁HPで提供中です。
- 令和5年2月1日からはオンラインによる配信を開始し、現在、地震発生から20～30分程度で提供しているものを、今後は**10分程度に迅速化し提供**する予定です。
- 高層ビルの管理などにご利用ください。



リニューアル後の長周期地震動観測情報ページ

令和4年10月26日気象庁報道発表資料 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について

https://www.jma.go.jp/jma/press/2210/26b/20221026_lpgm_start.html